

令和5年10月17日（火曜日）

## 心一つ みやびな箏曲

盛岡二高・定期演奏会



優雅な音色を奏でる盛岡二高箏曲部員

### 盛岡

盛岡二高箏曲部は14日、盛岡市内丸のトーサイクラシックホール岩手で第21回定期演奏会を開いた。高校最後の舞台となった3年生と後輩たちが心を一つに、みやびな音色を響かせた。

全国高校総合文化祭（7月、鹿児島県）で奏でた三木稔の難曲「箏双重」や、なじみの深いポップス曲などを披露。息の合った演奏

に、聴衆約200人から温かな拍手が送られた。公演終了で部長も代替わり。大役を務め終えた佐々木理葵さん（3年）は「皆さんの支えでここまで来られた。部は離れるが個人的に引き続き稽古に励みたい」と感慨深げに語り、新部長に就いた佐藤春菜さん（2年）は「先輩方の思いを受け継ぎ、来年の全国高総文祭では入賞を目指したい」と見据えた。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。